204　仏堂

明王院　本堂　　一棟

鎌倉時代（1321年）

方五間　一重　入母屋造　向拝一間　本瓦葺

明王院は大同2年（807）の創立と伝えるが明らかではない。元和年間（1615～23）水野勝成が福山に入国後、寺籍をここに移して明王院とした。本堂は、前面二間通りを外陣、後方三間を内陣とし、内陣両脇一間通りに脇陣を設ける典型的な中世本堂である。全体として和様の構成であるが、虹梁などに大仏様、木鼻や拳鼻などに禅宗様を用いており、折衷様の成立時期を示唆する遺構で、かつこの種の代表的建築である。内陣虹梁上の蟇股の墨書から元応3年（1321）の建立であることが知られている。

広島県福山市草戸町 1473　0849（51）1732　JR福山駅からバス草戸下車すぐ
（バス便が少なく、タクシー利用がよい）　境内自由